## ALLwatch Tips

## 2016 年 8月号 オムロンソフトウェア株式会社

バックナンバーは M2M センサネットへのログイン後に「取扱説明書」ボタンで表示する画面から参照ください。 「ALLwatch」は弊社が提供するモニタサービスの総称です。

## lor 対応絶縁監視装置 LM-100-3G の機能紹介(2)

2016 年 6 月に発売開始しました Ior 対応絶縁監視装置「LM-100-3G」ですが、既存機種「SW150LF/LF8」では「Igr 値計測用アダプタ」を外付けすることで実現していた Igr 値による監視を、Igr 計測の機能を内蔵することで、 「LM-100-3G」本体のみで可能としております。

今回は、Igr 値計測機能を内蔵することで可能となった新機能である、Igr 計測 CH の「Io 値と Igr 値の同時計測」のご紹介をいたします。

## <u>Igr 計測 CH での「Io 値と Igr 値の同時計測」</u>

既存機種の「SW150LF/LF8」+「Igr 値計測用アダプタ」の組み合わせでは、Igr 計測用アダプタが Igr 値の算出後の 値のみを監視装置へ送っていたため、Io 値の確認を行うためには、もう一つ他の ZCT を同一カ所へ設置し、他の入力 端子へ接続して確認する必要がありました。

「LM-100-3G」の Igr 計測可能な 2CH(AI06/AI07)は、Io 用と Igr 用の論理 CH を持っているため、Igr 値算出時の Io 値も M2M センターへ送信することが可能となり、計測データー覧で確認できるようになりました。

【計測データー覧画面】

計測日時	LM-100-3G a00101							
	Io7 (mA)	Io7 (mA) Io8 (mA) Igr7 (mA) Igr8 (r	Igr8 (mA)	状態				
08/24 00:00:00	0.30	0.20	0.00	0.00	定期通報 電波強度3			
同一 CH				F	司一 CH			

以下に、M2M センターの設定方法を説明いたします。

「端末設定」から「CH 種別設定」を選択し、Io7(AI06)/Io8(AI07)の Igr 計測を行う CH の Igr 計測チェックボックスにチェックを入れ、送信ボタンを押します。

機能				
(出種別設定)			$\sim$	
CH単位に、Jar/IO/サー <del>ミスタの種</del> 別を設定します。	ю7(AI06)	۲		●単相ler ○三相ler
端末タイトル・データ名称設定				(AI08データとして計測)
端末タイトル、CH名称などを設定します。	T- 0(ATO 7)	۲		○単相lar ●三相lar
	108(A107)		■	(AI09データとして計測)

② 「端末設定」から「端末タイトル・データ名称設定」を選択し、「AI06(Io)/AI07(Io)/AI08(Igr)/AI09(Igr)の計測 データー覧で表示させたい項目の表示チェックボックスにチェックを入れ、更新ボタンを押します。

機能				
<u>CH種別設定</u> CH <u>単位に、Jay/10/サーミスタの種別を設定します。</u>		_		$\frown$
端末々イトル・データ名称設定	AI06	Jo7	設定	
端末ダイトル、し日名称などを設定します。	AI07	lo8	設定	<ul><li>✓</li></ul>
~	AIOB	lgr7	設定	✓
	AIO9	Igr8	設定	
				$\bigcirc$
③ 計測データー覧でデータの確認が可能と	なってお	ります。		

●● 0 1 2 0 - 0 5 3 - 6 0 6 (土・日・祝日を除く 9:30~17:30(12:15~13 : 00 を除く))